

読書ライター
山内豊子の
今宵の酒味

春風に舞う花びらのよつじ
軽やかな酔いは極上

1



八海山
完熟ごり園 八海山 720ml
1,880円(税込) <http://www.takasago.co.jp/>
ご購入は 楽天市場「リカーショップたかはし」
<http://www.takasago.co.jp/taka-coke/>

中月の古事記



■ 河内屋販売
生樽泡打 桃河内山比産 寄試しセット(2パック)
2,800円(税込)
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/kohei/>

木造、廻林の中をのんびり
探索してしまふ。中野の
たらが開拓し、本々の草歌へ作詞
する。各の間に間に合ひたもの
をもつて開放され、自然との調
和を極めたりして。

またはかく風を吹く。風が空を
駆け渡りて気分はよきだ。やがてな
晴れやかな朝日も晴ければ、風も
おにいなかじゆく。山へと向かう
道であることを教科書上に記す。

蓋ふと見は、新潟縣の名酒であ
る八重曲の歌詞に心を惹く。ヨリア
ルの日本に歌やかな歌がある。今度
は「ああ、奈良坂」などなるも
生や軽いなりや」と。

山や森林で、街の公園で、季節の移ろいを感じつつ、野鳥たちと出会う。



大人時間 シュミノヒント

さとう・のぶゆき
1965(昭和40)年東京
都生まれ。メーカー勤
務を経て、ホームページ
などの制作会社を設立。
日本野鳥の会会員。



ビデオカメラに、専用のアダプターで「フィールドスコープ」という望遠鏡や集音マイクをセット。自分で組み上げた「ビデスコ」と呼ばれる超望遠撮影装置が、佐藤さんの愛機だ。

ブログ「野鳥観察フィールドノート」
<http://www.birdlover.jp/>

良で悩み、人に対するすめられて森林浴を始めた佐藤さん。森や公園を歩きながら野鳥のさえずりに耳を傾けては、図鑑のページを開くようになつた。そして、徐々に体調も回復していった。

「初めは双眼鏡でウォッチングするだけでしたが、そのうちに、会った鳥たちを記録に残したいと思うようになりました。でも、写真撮影には自信がなかつたので、ビデオ撮影してみようと思つたんです。動画なら、あとで編集していくシーンだけをつなげれば、ごま

の風景の美しさを知つたと。自然を肌で感じられることも、ドウオツチングの魅力だ。関東周辺の山や森林、公園を訪れては撮影。その地域で見られる野鳥はすでに大半を撮り尽くした。そして、夢はさらに広がる。

「いずれ沖縄の離島や北海道を訪れて、本州にいない野鳥200種類を撮影したいですね。例えば、沖縄にいる絶滅危惧種のヤンバルクイナなど。日本国内で見られる500種類以上の野鳥を網羅できたらいいなと思っています」

翡翠 翠を「ヒスイ」と読めば宝石。「カワセミ」と読めば鳥16年ほど前、住宅街の公園を散歩している時に、佐藤信行さんはカワセミと出会った。水辺の宝石と呼ばれるその美しい姿に、釣付けになつた。

これまでに300種類以上の野鳥を撮影。5年前に野鳥観察のブログを立ち上げ、「YouTube」で動画を公開した。「動画を見てコメントを書き込んでくれる人とのコミュニケーションも楽しいですね。海外の人が『それは東南アジアに生息している鳥で、日本で出会えたあなたはラッキーだよ!』と情報を提供してくれたこともありました」

四季折々の鳥を
ビデオ撮影して
動画を公開



佐藤信行さん
49歳